

◎注意事項をよくお読み下さい



# りそな 経済フラッシュ (ECB <欧州中央銀行> 理事会)

2020/7/17

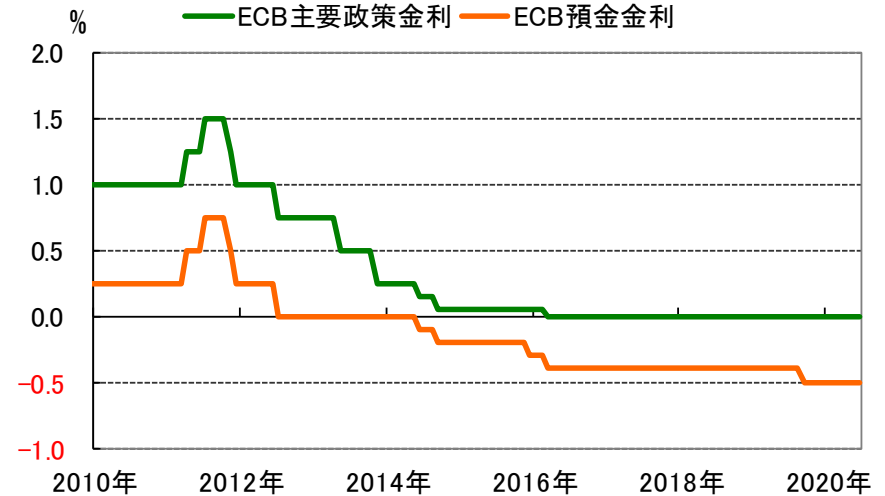
りそなホールディングス 市場企画部

## 〇 概況

- ◆ 今回の理事会は、金融政策の据え置きを決定
- ◆ ラガルド総裁の会見では、基本的にはパンデミック緊急資産購入プログラム(PEPP)は全額活用をすと発言
- ◆ また、欧州復興基金の早期合意を求める

- ✓ 7月16日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、**中銀預金金利は▲0.50%、主要リファイナンス金利は0.00%、中銀貸出金利は0.25%で据え置き、パンデミック緊急資産購入プログラム(PEPP)の規模も維持した。**
- ✓ またフォワードガイダンス（将来の金融政策方針）についても、「**インフレ目標の実現がしっかりと見通せるまで**」を据え置き。満期を迎えた債券の償還金に関して、長期間の再投資を継続。
- ✓ ラガルド総裁は理事会後の会見で、欧州経済は4月を底にウイルスの感染抑制と制限措置の緩和から5月、6月に回復基調にあるものの、指標により強弱があり部分的には大幅な回復が見られるものもあると述べた。ただし、経済の先行きについては不確実性が高く、エネルギー価格の低下や経済の急激な落ち込みに起因した物価の低迷は継続しており、引き続き十分な金融刺激策が必要であると主張した。
- ✓ 同総裁はPEPPについて、景気見通しが大幅に上振れしない限り、**基本方針通り全額活用を行う**と発言。ただし、シュナーベル理事が6月末に早期終了の可能性を示唆するなどECB内のコンセンサスではない模様。
- ✓ また、**17-18日にEU臨時首脳会議**が行われることに先立ち、ECBの想定は欧州復興基金が承認されることを前提としているとし、**欧州復興基金の早期合意を求めた。**

## 【ECB政策金利と預金金利】



## 【ECBスタッフ見通し（6月時点）】

	2020年	2021年	2022年
実質GDP成長率	▲8.7	+5.2	+3.3
3月時点の見通し	+0.8	+1.3	+1.4
HICP(消費者物価)	+0.3	+0.8	+1.3
3月時点の見通し	+1.1	+1.4	+1.6

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。